

2018

1/2 TUE

3/11 SUN

前期 1/2 TUE 後期 2/6 TUE

2/4 SUN 3/11 SUN

お正月は1/2から開館



主催 | 茨城県陶芸美術館
 特別協力 | 茨城県工業技術センター繊維工業指導所
 助成 | 芸術文化振興基金
 開館時間 | 午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)
 休館日 | 月曜日(ただし、1月8日(月・祝)は開館、
 2月12日(月・振替休日)は開館、翌1月9日(火)、2月13日(火)休館)
 観覧料 | 一般720(570)円 高大生510(410)円 小中生260(210)円
 *()内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、
 障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方
 [ただし1人につき1人まで]は無料。土曜日は高校生以下無料。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地[笠間芸術の森公園内]
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012
URL <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

いばらき
工芸大全
染織の巻

III

いばらき 工芸大全 Ⅲ 染織の巻



1 桜井貞子「絹紙布風通緋紅梅織着物「満ちる春」」(部分)平成5年(1993) 2 鉄地金銅張半球形八脚雲珠(風返稲荷山古墳 くびれ部箱形石棺外出土馬具のうち)古墳時代(7世紀頃)茨城県指定文化財かすみがうら市歴史博物館 3 浅野榮一「唐棧縞」平成27年(2015) 4 本場結城紬技術保持会「平結城亀甲縞着尺 160通し」昭和30年(1955)東京国立近代美術館 5 土手千鶴子「水草 木綿地タビストリー」平成15年(2003) 6 中村光哉「遊園地」昭和41年(1966)水戸市立博物館

本展は当館が陶芸にとどまらず工芸全般に視野をひろげて、いばらきゆかりの工芸品の魅力を紹介するシリーズの第3弾です。いばらきと染織の関わりは古く、県内の三つの神社には養蚕の始まりとされる金色姫の伝

説が伝わっています。また、風返稲荷山古墳(7世紀頃)の副葬品に付着していた貴重な経錦や麻など、古墳時代の染織も伝わっています。さらに遺跡から出土する糸巻き等の製作の道具や、『常陸国風土記』『延喜式』『万葉集』などの文献資料からは、いばらきが染織品生産の産業の盛んな地であったことがわかります。起源が奈良時代の絹粗布「あしぎぬ」とされるほど古い結城紬は、昭和31年(1956)に国の重要無形文化財、昭和51年(1976)に本場結城紬技術保持会が重要無形文化財技術保持団体に認定され、平成22年(2010)にはユネスコの世界無形文

化遺産に登録されました。近代に入ると作家として創作活動を行う染織家も登場し、文展・帝展・日展と長く活躍した桜井霞洞や、水戸藩土の家系を継ぎ、重要無形文化財「友禅」保持者(人間国宝)に認定された中村勝馬から、現在活躍中の作家まで、染織の可能性を追求し、独自の表現を発表する作家を多く輩出してきました。さらに明治に入って生産が途絶えた宮城県白石の紙布を、いばらきの西ノ内和紙の職人と協力しながら作る紙布作家の作品も展示します。本展では、約80点の染織作品により、時代をこえて受け継がれる技と作品との魅力を紹介します。

説が伝わっています。また、風返稲荷山古墳(7世紀頃)の副葬品に付着していた貴重な経錦や麻など、古墳時代の染織も伝わっています。さらに遺跡から出土する糸巻き等の製作の道具や、『常陸国風土記』『延喜式』『万葉集』などの文献資料からは、いばらきが染織品生産の産業の盛んな地であったことがわかります。起源が奈良時代の絹粗布「あしぎぬ」とされるほど古い結城紬は、昭和31年(1956)に国の重要無形文化財、昭和51年(1976)に本場結城紬技術保持会が重要無形文化財技術保持団体に認定され、平成22年(2010)にはユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。近代に入ると作家として創作活動を行う染織家も登場し、文展・帝展・日展と長く活躍した桜井霞洞や、水戸藩土の家系を継ぎ、重要無形文化財「友禅」保持者(人間国宝)に認定された中村勝馬から、現在活躍中の作家まで、染織の可能性を追求し、独自の表現を発表する作家を多く輩出してきました。さらに明治に入って生産が途絶えた宮城県白石の紙布を、いばらきの西ノ内和紙の職人と協力しながら作る紙布作家の作品も展示します。本展では、約80点の染織作品により、時代をこえて受け継がれる技と作品との魅力を紹介します。

講演会「未知なる世界を目指して」
日時=3月10日(土)13:30~15:00
会場=当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師=須藤玲子氏(株式会社 布 テキスタイルデザイナー・東京造形大学教授・本展出品作家)
定員=120名(先着順)

ワークショップ「織り機を作り、布を織る」
段ボールなどで織り機を手作りし、その織り機で布を織ります。織り機と布は、お持ち帰りいただけます。
日時=2月17日(土)10:00~15:00 会場=当館地階研修室
講師=茨城県工業技術センター 繊維工業指導所職員
定員=30名(中学生以上対象)
申込方法=電話またはFAXにて事前申込(先着順・電話0296-70-0011/FAX0296-70-0012)
※企画展チケットが必要です。

呈茶会「出品作家の作品でしつらえた茶席で一服」
日時=1月14日(日)10:00~10:30~/11:00~/11:30~/13:00~/13:30~/14:00~/14:30~/15:00~/15:30~
会場=当館地階オープンギャラリー 席主=海老澤宗香氏
参加費=500円 定員=各回とも先着10名(先着順・事前予約可能)
事前予約=電話またはFAXにて(電話0296-70-0011/FAX0296-70-0012)

出品作家による作品説明会 ※企画展チケットが必要です。
日時=2月3日(土)13:30~ 場所=当館多目的ホール・企画展示室
講師=浅野榮一氏、村山佳津典氏、妹尾直子氏 司会=金子賢治(当館館長)

ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。
担当学芸員が展覧会をご案内。
日時=1月27日(土)/2月18日(日)
いずれも13:30~



割引券
この券をお持ちいただいた方とご一緒にご来館された方(年齢を問わず)に限り、料金を1割引きいたします。

第10回記念「現代茨城作家美術展」1月20日(土)~2月12日(月・振休)
生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ2月23日(金)~4月8日(日)
茨城県近代美術館 Tel 029-243-5111

貌・KAOII 白鳥写真館「これから・・・」
同時開催 **写真公募展2018【顔】**
1月2日(火)~3月11日(日)
笠間日動美術館 Tel 0296-72-2160

交通案内
電車=JR常磐線で上野~友部駅(特急70分)/友部駅から「かさま観光周遊バス」(料金100円、定員36名)で15分/友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(9分)下車/笠間駅からタクシーで5分 車=北関東自動車道 友部インターから10分・笠間西インターから15分/常磐自動車道 若間インターから25分・水戸インターから30分 駐車場=笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。※会期中、芸術の森公園内でイベントがある場合は、駐車場が有料になります。展覧会をご観覧頂く方には美術館受付で返金いたします。

